

## 令和2（2020）年度 住まいとコミュニティづくり活動助成 活動中間報告

## 団体名

吉野 家守倶楽部

## 活動のテーマ

歴史的町屋を活用した地域住民や関係人口がわくわくほっこり交流できる場所づくり

## 9月までに達成できた事項(箇条書き)

- 6月20日 吉野シェアリングスペース結の見学会開催①
- 6月30日 ほんまち屋敷厨房の改修工事の完了②
- 9月19.20日 スマイルバスで行くディープな吉野の旅」パネル展開催③
- 9月21.22日 フリーマーケットの開催④
- 9月21.22日 お試し宿泊体験会の開催⑤

## 今後の活動予定と令和3年3月末時点の達成予定事項

- 10月2日 「十六夜に吉野の物語を聴く会」の開催⑥
- 10月3日 大学生によるDIYでスノコ作り体験⑦
- 11月1～3日 町屋の現代アート展「はならあと」会場に⑧
- 12月上旬 若手木工職人によるワークショップ
- 12月上旬 健康講座と健康グッズづくり
- 12月上旬 起業支援事業「チャレンジランチ」開催
- 3月中旬 吉野の偉人の足跡講座の開催

新型コロナ感染拡大の影響で、やむを得ず生じた変更事項がございましたらその内容をお書きください。お書きいただいた事項の取り扱いにつきましては、今後、個別に検討させていただきますので宜しくお願い致します。

春から夏にかけて開催予定の事業を延期し、9月に集約して開催。⑥⑦は既に開催済。⑧も開催予定であるが、それ以降12月～については、インフルエンザの蔓延時期でもあるので不確定な予定である。

## 6月 20 日(月) コミュニティスペース結の見学会の実施



県をまたぐ移動が可能となった6月19日の翌日。吉野町の歴史・文化・営みの魅力を深く知る旅「スマイルバスで行くディープな吉野の旅」が昨年11月に50回を迎え、8年をかけて吉野を知る「マイクロツーリズム」が終了し、その参加者の集いが20日に開催された。副代表である倉上もこのツアーに参加して吉野を知り、吉野の人々の温かさを知った1人。それが上市に残る空き家を取得し、2拠点生活を目指すきっかけともなった。今回この集まりにコミュニティスペース結の見学会が組み込まれた。当日の町外参加者は10名、それぞれが吉野愛に溢れる参加者。この見学会を通して、移住まではいなくても二拠点を目指す人が増えて戴きたい。現在台所やトイレ等を改修中であったが、築百年の建築に現代に暮らしやすい工夫が施されていく最中が見学できるのも良かったかと。

## 6月 1 日～26 日 スペースの厨房解体及び改修工事実施



改修前の様子



ゲストハウス利用客や、食を中心に起業を目指す人々のチャレンジ支援の場に提供する施設に

## 9月 19 日・20 日 スマイルバスで行く吉野の旅パネル展示会の実施

2012年から2019年にかけての足掛け8年間。合計50回吉野町のコミュニティバスである「スマイルバス」を利用して合計50回開催された究極の「マイクロツーリズム」の提案であった「スマイルバスで行くディープな吉野の旅」。今年5月これを記念して記念本が発行された。この本のエッセンスを写真にまとめたパネル展を、上記の2日間開催された。19日には別紙の通り41名、20日には31名の方々がこの「ほんまち屋敷」に集まり、この場所のポテンシャルを体感戴いた。





# 住まいとコミュニティづくり活動助成中間報告 2020 2/2

吉野 家守倶楽部(奈良県)

## 9月21日・22日 空き家にあった残材整理モノのフリーマーケット開催

長らく空き家となっていたので、家中に残材小物が沢山あり、これらを整理片付けしないと、新たな空間とならない。そこで数カ月にわたって、焼却すべきものと焼却するには躊躇われるものに分別した。そして、誰かにとって価値のあるものならリユースして戴きたいとの思いで開催。開催に当たっては仕分け・値付け・販売に当たって、近隣の主婦の方にお手伝い戴いた。



## 9月21日・22日 お試し宿泊体験会の開催

この施設の利用として和室 30 帖を利用した宿泊施設が考えられる。そこで9月21日は近畿大学建築学科の学生(9人)がお試し宿泊体験を。22日には古民家に泊まりたいという、2人の大阪の看護婦さんがお試し宿泊体験をして頂いた。全員にアンケートを書いて戴いたので、その様子は後日別紙にて報告。

